

2026 年度 山梨学院短期大学 免許法認定講習

シラバス			
講習名	保育内容特論（身体表現）		
講習期間	8月5日(水)～8月6日(木)	単位数	1単位
会場	山梨学院短期大学	受講定員	10名
担当講師	今井 茂樹（保育科教授）		
講義概要	本講習では、表現活動の意義やねらいについて理解したうえで、子どもの身体表現とは何かについて発展的に深めていく。また、身体表現における指導と援助の方法について、保育内容5領域の「表現」領域及び、「健康」領域と関連付けながら実践的に学ぶ。具体的には、身体表現遊びを創造する活動を通して、遊びづくりや指導法について学びを深める。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の意義やねらいについて理解し、指導実践を通して身体表現活動の理解を深める。 ・身体表現の活動内容及び指導内容を知り、身体表現活動の指導法を理解する。 ・幼児の身体活動が、他の領域や多様な動きとのかかわりが深く、総合的な活動であることを理解する。 		
成績評価の方法	試験 ・ レポート ・ その他（ ）		
タイムテーブル			
8月5日（水曜日）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	身体表現活動の意義と内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針と関連づけて、身体表現遊びの意義と内容を理解する。(ジェスチャー)
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	身体表現活動のねらいと内容	身体表現遊びのねらいと具体的な内容を理解する。(お皿遊び)
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	身体表現遊びの実践と指導法	身近なモノを取り上げた具体的な実践と指導法を理解する。(花紙)
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	多様な動きと身体表現	多様な動きと関連した身体表現遊びを実践的に理解する。(テニピン)
～～～ 第2日目は次頁 ～～～			

8月6日（木曜日）

5	9:00～10:30 (90分)	身体表現における指導の内容と段階	身体表現にかかわる指導のねらい及び、内容と段階を理解する。(新聞紙)
	10:30～10:40	休憩	
6	10:40～12:10 (90分)	イメージと動きの連環	身体表現遊びのイメージと動きの連環を理解する。(対決)
	12:10～13:00	昼食休憩	
7	13:00～14:30 (90分)	音・リズムに合わせた身体表現	音・リズムに合わせた身体表現遊びを理解する。(あんたがったどこさ)
	14:30～14:40	休憩	
8	14:40～16:10 (90分)	実践を通じた身体表現遊びの指導法	音・リズムに合わせた身体表現遊びの指導法を理解する。(発表会)
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～17:30	試験	
履修上の注意事項等			
<p><持ち物>約 20cm 四方に切り抜いた段ボールを 2 枚、体育館シューズ</p>			

2026 年度 山梨学院短期大学 免許法認定講習

シラバス			
講習名	子どもと環境特論		
講習期間	8月18日(火)～8月19日(水)	単位数	1単位
会場	山梨学院短期大学	受講定員	10名
担当講師	小林 祐一(保育科教授)		
講義概要	幼稚園教育要領に示されている領域「環境」のねらいと内容の理解を踏まえて、「環境を通して行う保育・教育」の具体像を、事例や体験(実習)を通して理解する。学びの過程で、事例の考察と幼児の意識や活動を想定した多くの体験を経験することにより、保育者として期待される豊かな感性の涵養と、遊びや学びを構想する上でのスキルの獲得を目指す。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領等における領域「環境」のねらいと内容を理解する。 ・「環境を通して行う保育・教育」の考え方や手立てを、事例や体験を通して理解する。 ・幼児の思考や認識を想定した体験を通して、保育者に期待される感性を涵養したりスキルを獲得したりする。 		
成績評価の方法	試験 ・ レポート ・ その他()		
タイムテーブル			
8月18日(火曜日)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	幼稚園教育要領の構成及び内容 保育・教育の具体と環境のデザイン	領域「環境」のねらいと内容の確認に 続き、様々な環境構成とその意図に ついて事例の検討を行う。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	環境のデザインと子ども理解①	物的環境・人的環境の視点から事例 の考察を行うと共に様々な子ども理 解の手法について特徴を整理する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	環境のデザインと子ども理解②	保育のドキュメンテーションの特徴 及び活かし方を整理し、実際に作成 する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	幼児の環境への向き合い方・保育者 としての環境への向き合い方①	人的環境の視点から、子どもの内面 に育まれるものや保育者自身に求め られるものを考える。
～～～ 第2日目は次頁 ～～～			

8月19日(水曜日)			
5	9:00~10:30 (90分)	幼児の環境への向き合い方・保育者としての環境への向き合い方②	子どもが自然環境に関わる手法の例としてネイチャーゲームを取り上げ、その理念と手法を理解する。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	幼児の環境への向き合い方・保育者としての環境への向き合い方③	自然環境の視点から、子どもの内面に育まれるものや保育者自身に求められるものを考える。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	保育・教育の構想と環境のデザイン①	各地の園における園の特徴を生かした事例を比較し、考察する。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	保育・教育の構想と環境のデザイン②	自園の環境をふり返り、新たな魅力の発掘および活動の構想に取り組む。
9月3日(木曜日)まで			
レポート提出			
履修上の注意事項等			
<p>2日目に、自園の環境を生かした活動の構想と発表を予定。勤務する園の屋内・屋外環境や魅力と思われる部分について5~10枚程度(枚数の指定や制限はなし)の写真を撮影し、パソコンと共に持参することが望ましい。</p>			

2026 年度 山梨学院短期大学 免許法認定講習

シラバス			
講習名	教育哲学		
講習期間	8月20日(木)～8月21日(金)	単位数	1単位
会場	山梨学院短期大学	受講定員	10名
担当講師	川上 英明(保育科准教授)		
講義概要	本講義では、教育という営みに特有の諸問題を主題化して取り上げ、その考察を行うことによって、教育についての批判的・哲学的な思考を行うことの基礎的な態度を獲得することを目的とする。その際、教育の理論や歴史などを扱った上で、「教育を哲学すること」の実践を行う。そのため本講義は、哲学プラクティスの実践等も取り入れ、アクティブな学びのあり方も体験してもらう。		
学習の目標	(1) 教育という営みが抱えている諸問題について批判的に思考する力を身につける。 (2) 哲学的な考察を通して、日常的な教育の営みを捉え直すことができる。 (3) 自らの教育観を、哲学的な概念を用いて表現することができる。		
成績評価の方法	試験 ・ レポート ・ その他()		
タイムテーブル			
8月20日(木曜日)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	「教育哲学」の方法について	本講義における「教育哲学」の方法が「対話」をキーワードにしていることを確認する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	「人間」とは何か ——教育学と教育の歴史における人間の定義	古代から近代に至る教育の歴史の中で「人間」がどのように定義されていたかを理解する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	「ポスト・ヒューマン」とフェミニズムの教育哲学	近代の人間概念を乗り越えた現代における「ポスト・ヒューマン」とフェミニズムの関連を押さえる。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	「ケアの倫理」と教育・保育の問題	「ケアの倫理」の議論の中で、教育や保育がどのように位置づけられているか理解する。
～～～ 第2日目は次頁 ～～～			

8月21日（金曜日）			
5	9:00～10:30 (90分)	「傷つけられやすさ」について	ケアの倫理の文脈における「傷つけられやすさ」の概念を理解し、その視点から教育の問題を考える。
	10:30～10:40	休憩	
6	10:40～12:10 (90分)	「ネガティブ・ケイパビリティ」と「対話」の哲学	ネガティブ・ケイパビリティの概念をもとに「対話」を用いた教育の可能性を考える。
	12:10～13:00	昼食休憩	
7	13:00～14:30 (90分)	子ども理解の方法としての「対話」	子どもの失敗や過ちに対して教師や大人が理解するための方法としての「対話」の可能性を理解する。
	14:30～14:40	休憩	
8	14:40～16:10 (90分)	理性と情念の間で教育を哲学する ——まとめに代えて	本講義全体を振り返りつつ、理性と情念のバランスを考えることの重要性を考える。
9月3日（木曜日）まで			
レポート提出			
履修上の注意事項等			
<p>教科書は指定しない。 参考書は適宜、講義内で紹介する。</p>			